

研修課題 ～自由の国アメリカ～

1. 学校 - Lincoln High School -

(1) 学校の様子

学校全体がとても賑やかで活気づいていた。日本の学校の様な堅苦しさや生真面目などは全く感じなかった。廊下に座ったり、寝そべっている人が多くて、日本人の目から見ればだらしく見えた。様々な人種の人があった。白人・黒人・中国系の人・イスラム系の人それに日本人や日本人とアメリカ人のハーフの人など様々だった。同じ人種の人達だけが集まることはなく、いろいろな人種の人が集まって楽しんでいるのを見て、表立って見れば差別はないようなので安心した。

(2) 生徒の様子

ほとんどがOut-going な人だった。いつもみんなで大騒ぎをしたり、肩を組んで大声でおしゃべりをしたり歌ったりしていて、陽気な人ばかりだった。男の子は「lady faist」の国なのでみんなとても親切でやさしかった。女の子は私が見知らぬ人を見ると「smile!」とか言って元気づけてくれたりしていい人ばかりだった。おもしろい人が多くて、踊ったりお互いにjokeを飛ばしたりして日本で言う「漫才」をしていた。男の子と女の子がとても仲が良かった。けれども廊下で抱き合ったり、キスをしているのを見た時は、よく人前でそんなことができるものだと驚いた。とにかく日本人の様に人見知りをしないし、恥ずかしがったり遠慮したりしない。みんな学校生活を楽しんでいるようでとても羨ましかった。



(3) 生徒の服装

私が一番関心を持っていたのは生徒のファッションでした。一言で言わせてもらえばとにかく個性的だった。髪型のことから言うと、金髪・茶髪・黒髪など様々な色の髪があり、赤・青・緑・オレンジetc...に染髪している人もいた。

服装については、女の子はGパンにセーターという普通の恰好の子がいるかと思えばミニスカートやボディコンをはいている人と様々だった。ピアスなどもみんな毎日いろいろと変えてきていて羨ましかった。男の子はGパンにセーターという感じで別に驚く様なことはなかったけれど、半ズボンや半袖の人が多いの目についた。ピアスをしている人も結構多くてびっくりした。服装はその人の人柄をよく表していた。

(4)授業の様子

学校の初日は新学期ということで、お互いのX'mas などについて知らせあったりしてとてもおしゃべりが多かったけれど、授業が始まる、みんなどんどん質問したり、自分の意見などを積極的に発言したりして、とても生き生きとした授業だった。日本の授業はどちらかというと、受け身の授業で、丸暗記やただ書いてひたすら覚えるという形式だけれど、アメリカの授業はそのまるで逆で、教師と生徒が一体となり、時には意見がぶつかり合ってるで、敵同志であるかのように授業を作りあげている。という部分は見習いたいと思った。が、授業中ガムを噛んだりジュースを飲んだりするというのはあまり関心する行為ではないと思う。

(5)その他

リサイクルなどに積極的に協力しているのには感心した。各自がロッカーを持っていて、自己管理はよくいきとどいているようだが、時々窃盗などもあるらしく、どこの国でも悪い生徒はいるものだなあと、少し残念に思った。



2. 食事

(1)家庭の食事

家庭内での食事はその日その日がちがっていた。X'mas の時はもちろん豪華だったが、他の日のことを思うと、この家庭はわりと質素だった。朝はクラッカーやパンにtea という感じで、どちらかというと毎日ご飯とみそ汁を食べていた私にとっては、物足りなく感じた。昼は、学校のない日はサンドイッチにスープというふうに、朝よりはボリュームがあった。夜は、Rosemarie 家では、月～水は彼女や私やliza が食事の手伝いをし、木は各自が好きなものを作って食べ、金はみんなで外食というふうに決まっていた。1品料理だけという日もあり食事に私は少し不自由した。Mike家では朝食は自分で勝手にパンなどをとって食べた。夜は結構豪華だったし、帰る一週間前ぐらいは毎日のように外食をした。

(2)外食

マクドナルドやケンタッキーの様な店ばかりと思っていたが、日本料理・中国料理・メキシカン料理など様々であった。ファーストフード店はどれも日本の値段より格別に安く、Sサイズでもとんでもなく大きくて、日本で言うMかLはあると思う。コーヒーもおかわりが自由の所も多かったし、どちらかと言えば質より量というのか、アメリカのスケールの大きさをこういう所でも感じた。

(3)lunch time -Lincoln high school

リンカーン高校にはカフェテリアという大衆食堂のような約体育館 1個分ぐらいの大きさの所がある。そこで生徒はピザやポテトなどを買って自由に食べている。カップラーメンの人も多かったし、果物を食べている人も割合多かった。とにかく様々な種類のパンなどもあり、ジュースだけでもかなりの種類があった。

(4)その他

ファーストフード店などの店員の人が皆親切で、いつも笑顔で必ず「Hi」とか、「Hello」と声をかけてくれる。「また行きたい」と思わせる雰囲気をもっていた。

3. 街・人

ポートランド市はとても栄えていて、特にリンカーン高校周辺は、高層ビルが建ち並んでいるのでびっくりした。日本人にとっては物価が安く、つつい手がのびてしまう。混んでいる店に入ると、ちょっとぶつかると互いに「Excuse me」と言い合う。日本人ならきっとぶつかっても知らんぷりだと思う。

ホームレスも多かった。

間でもウロウロしている人が多いのに目がついた。町中の人々が友達という感じで物を選んでる間に隣にいる人と少し話をただけで、すぐ友達のようになったりしたりして、みんなとても気軽でいい人ばかりだった。車イスの人も多かった。バスにも車イスの人専用のシートがあり、運転手が乗り降りを手助けしてあげていて、アメリカはこういった部分はものすごく進んでいるなあと感心した。

4. アメリカについて

私のアメリカのイメージは何と言っても第一に自由である。日本人が持つ自由のイメージとは、自由=適当に近いが、アメリカは自由=開放的とでもいうのだろうか、人それぞれに自由と個性があるように思われた。その反面、拳銃所持の問題やAIDSの問題など、社会的・世界に関わるような大きな問題を抱えている。

よく日本人とアメリカ人は比較される。日本人は内気な人が多いが、アメリカ人はみんなオープンだというように、その国自体を象徴しているかのように、人間の考えかた・価値観はやはりアメリカの方がしっかりしているし、みんな自分の意見をそれぞれ持っていて、まるで日本と違う。裏を返して言えば、それぐらいしっかりしていないと、この厳しい世の中に一人で生きていくことはできないのかもしれない。私も良い面はどんどん取り入れたいし、文化の違いやそんなのは無関係に日本人は是非ともアメリカ人のそういった部分を見習うべきだと思う。

私は日本に帰ってきて、友達から変わったと言われた。どういう部分が変わったかはさだかではないが、23日間という短い間でも別世界に住むと、やはり人間少なからず変わるものなのだろうか。私はアメリカ、アメリカ人の良い面も悪い面もたくさん見てきたし、その中から吸収し、学んだこともたくさんある。今回の旅行を機に、アメリカへの関心を広く持ち、アメリカの文化を勉強し学んでいきたいと思います。

